

「アベノミクス」を撃つ 正誤表

部	章	頁	個 所	誤	正	
		目次	第一部第四章	ケインズ	ケインズ派	
	前文	5	後6行	しばしば	(削除)	
第一部	第一章	11	上段、1行	例えと	例えて	
		12	上段、後8行	基準して	基準として	
		13	上段、1行	長さ	重さ	
		13	下段、1行	——	——、	
		14	下段、8行	のみあって	のみであって	
		15	上段、13行	2、30%	20、30%	
		19	上段、6行	増やしも	増やしても	
		21	下段、後4行	需要	需要は	
		24	下段、7行	バブル	バブル	
		25	上段、7行	弁証法的論理と	弁証法的論理が	
		26	上段、10行	見つけるに	見つけるのに	
		28	上段、8行	「資本」の前に、「配当金を払ったり、」を挿入		
		33	下段、5行	「連中」の後ろに、「——浜田らのことだ——」を挿入		
		35	下段、後6～5行	いるのだが	いる、しかし他方	
		38	上段、7行	「方法によって」の後ろに「——」を挿入		
		38	下段、第1パラグラフ	一両	十銭 (4か所)	
		第二章	57	下段、後3行	高橋相一	高橋洋一
			58	上段、2行	世界期危機	世界的危機
	58		上段、13行	すれなら	するなら	
	59		上段、後4行	りことに	りのことに	
	59		下段、後3行	高杉	高橋	
	63		上段、後2行	鉄鋼石	鉄鉱石	
	67		上段、5行	売ってもは儲け	売っても儲け	
	71		上段、2行	ないのもちろん	ないのはもちろん	
	71		下段、後4行	を持ちだすこと	(削除)	
	79		下段、後2行	できること、	できることになる——、	
	第三章		82	下段、最終行	運命をだ	運命をた
			96	下段、2～3行	「実際、……よって、」を削除し、「白川日銀」以下を改行	
			100	下段、15行	「歴史」の後ろに、「——それ以降の歴史さえも——」を挿入	
	102		下段、後5行	きたの	きたから	
	第四章	105	サブ見出し	ケインズ	ケインズ派	
		109	下段、3行	——の生み出した	——生み出した	
		111	上段、後3行	475兆円が	475兆円の	
		118	上段、4行	鉄鋼石	鉄鉱石	
		121	上段、6行	引くべきであるつま	引くべきである、つま	
		124	上段、後2行	表式4	図表4	
		135	下段、後13～12行	資本蓄積という条件の下)	資本蓄積)という条件の下に	
		135	下段、後6行、3行	国民総生産	国内総生産	
		136	上段、1行	国民総生産	国内総生産	
		136	上段、5行	越三郎	信三郎	
		137	上段、11行	ルクセンブルク	ルクセンブルグ	
		138	上段、後7行	表式(表式	表式(図表	
138		下段、9～10行	、つまり最初の二つの式(5、6)、あとの二つの式(7、8)はそれぞれ実際に同じものである	(削除)		
139		下段、10行	余計なによる	余計な形による		

	141	下段、4行	従ってその現実的	従って“均衡的な”拡大再生産の現実的
	142	下段、6行	続のものをみただけでは	続の表式では
	143	上段、見出し	第二部	第一部
	143	上段、後ろから11～10行目	「国内総生産＝国内総所得」、GDP＝「国内総生産」とは、国内総生産とは	それは、「国内総生産＝国内総所得」であり、
	143	上段、9行	無概念に対して――、	無概念――に対して、
	144	上段、6行	構成するからだ	構成するからだ
	144	上段、10行	ルクセンブルグらとともに、	ルクセンブルグらと共に、
	148	上段、1行	『成長』	『成長』
	151	上段、後4行	流通を	流通に

部	章	頁	個 所	誤	正
第二部	第一章	158	下段、後ろから5行目	日本再現の政治	日本再生の政治
		161	下段、後2行	幻想に	幻想で
		163	上段、後9行	突進するか	突進するしか
		165	上段、6行	約束される	約束されている
		168	上段、4行	あるか言いはやして	あるかに言いはやして
		175	下段、7行	載せられて	乗せられて
		178	上段、14行	“小カネ”	“小ガネ”
	第二章	186	上段、13行	国民総生産	国内総生産
	第三章	222	下段、13行	付けているのも	付けているのを
	第四章	250	上段、8行	いったもの	いったものは
	第五章	260	上段、7行	国民――	国民の――
		263	上段、後4行	労働者人民	労働者、勤労者
		268	上段、9行	偏狭教育	偏向教育
		270	下段、12行	なぜ	(削除)
		271	下段、12行	りもちろん不満さえも	りはもちろん不満さえ
		273	上段、後5行	肩棒	片棒
		276	上段、後7行	積極西	積極性
		276	下段、後6行	序文	前文
		284	上段、後7行	思想・信条	思想・信条の自由
		292	上段、9行	ひとりよがの	ひとりよがりの
296	上段、後7行	どころが	どころか		

※ 次頁に追加の正誤表があります

「アベノミクス」を撃つ 正誤表追加(2013.12.23)

部	章	頁	個 所	誤	正	
第一部	第一章	18	下段、7行	行き着いた形態	行き着いた“究極の”形態	
		20	下段、4行	貨幣との量の対置	貨幣の量との対置	
		30	上段、9行	消費一般	消費手段	
		30	下段、2行	賃下	賃下げ	
		35	上段、後7行	1	—	
		35	下段、後8行	いくらでも	いくらかでも	
	第二章	68	下段、後9行	100ドルだった	100円だった	
		69	下段、8行	ことになる。	ことになるからである。	
		73	上段、見出し	理解ために	理解のために	
	第三章	94	下段、後6行	実態経済	実体経済	
	第四章	107	上段、最終行	ケインズ“経済学”	ケインズ派“経済学”	
		108	上段、後7行	損耗	減耗	
		110	上段、10行	659兆円	656兆円	
		110	上段、11行	659]、166兆円	656]、164兆円	
		110	上段、12行	166兆円	164兆円	
		110	上段、14行	659兆円	656兆円	
		110	上段、後4行	659兆円	656兆円	
		110	下段、後10行	166兆円	164兆円	
		111	上段、1行	527兆円	523兆円	
		117	上段、10行	生産に当てはめようすれば	生産に当てはめようとすれば	
		119	下段、後8行	年々さえもの売上げ	年々さえもの売り上げ	
		123	下段、見出し1行	概念になぜ	概念に	
		132	下段、後7行	vとmの3000	vとmの2000	
		132	下段、後6行	cの3000	cの2000	
		135	上段、後9行	「総産出額」、つまり	「総産出額」、つまり	
		139	上段、見出し	3、拡大再生産表式の若干の説明を前頁(138)の第2パラグラフの前に移す		
		141	上段、後3行	神託化	神格化	
		第二部	第一章	174	下段、後3行	等しいほどまで
第二章	186		上段、後10行	名目国民総所得	名目国民所得	
	189		上段、後2行	丁度ファシスト	丁度ヒトラーが、ファシスト	
	202		上段、後6行	国益	国益(保護主義)	
第三章	210		上段、9行	そもそも	(削除)	
	229		上段、後6行	15年戦争のアジア	15年戦争の、アジア	
第四章	239		下段、後9行	許されるのか)、	許されるのか)——、	
第五章	256		上段、後3行	いないことは	いないことが	
	266		下段、後3行	「自虐史観」とは	「自虐史観」批判とは	
	274		下段、後11行	「人権」や	「人権」や「生活」(生命さえも!)や	
	284		上段、最終行	天皇制軍国主義国家の再現であろう。	天皇制国家がそうであったのと同様である。	